

- ・コラム「裕福な人だけが守られる？」(杉浦 良)
- ・お知らせ(留学生体験ボラ)
- ・メンバーインタビュー
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

155号/2013

Since 1984

「裕福な人だけが守られる？」

杉浦 良

次は今から4年半ほど前に「防火対策」と題した私の駄文です。

「6月2日午前2時過ぎ、放火により、神奈川県の本造2階建て約320平方メートルの知的障害者グループホームが全焼しました。3人の尊い命が、この火事によって失われました。また一昨年初め、長崎の認知症高齢者グループホーム火災で、7人が亡くなりました。本当に痛ましい出来事で、その対策の1つとして、来年4月から自動火災報知器やスプリンクラーの設置基準が厳しくなります。建物の広さが150平方メートル以上に義務付けられていた消火器、300平方メートル以上に義務付けられていた自動火災報知器、そして500平方メートル以上に義務付けられていた火災通報装置は全ての建物に、1000平方メートル以上に義務付けられていたスプリンクラーは275平方メートル以上になるというものです。神奈川県の7人が暮らしていたグループホームは、今度の改正でスプリンクラーなど、全ての防火対策をとらなければいけないこととなります。安全対策にぬかりがあってははい



回収品の荷下ろし作業
市民の皆様のご自宅までお伺いして頂いた品物を、家具類、電化製品、衣料品、本、雑貨類、資源ごみに分別して運びます。

けませんし、スプリンクラーがあれば寝ていても消火ができます。ただ小規模住宅でも 200 万から 300 万円もの費用が掛かるといわれています。大規模な入所施設や病院から、地域社会で暮らすための場所として位置づけられるのが、グループホームです。大規模な施設では当たり前前の設備ですから、小規模のグループホームでも導入する意義は分ります。また安全にお金を惜しむことは、命に対する冒険でしょう。

しかし、今の日本でスプリンクラーが付いている一般住宅を、私は知りません。お年寄りの一人暮らしや、在宅の障害者にとっても防火対策は必要です。ただ設置工事も大規模で、耐震対策を上回るほどの費用負担は、地域で暮らせる場所を制限することにもなります。できればなるべくお金が掛からず、設置も簡単で、維持管理コストが安い防火対策を導入することはできないのでしょうか？ 寝室と廊下の天井に設置が義務付けられた、電池式火災警報器は一つが 5,6 千円です。自分で取り付ければ、4 寝室 1 廊下の 5 人家族は、3 万円で防火安全対策が可能となります。施設から地域で暮らせる可能性のハードルが、この防火対策により高くなってしまわないことを願います（2008 年 9 月 24 日徳島新聞夕刊ぞめきより）。」

忘れていたこの文章を思い出したのは、東日本大震災から 2 年経った次の日、毎日新聞みんなの広場で「裕福な人だけが守られる？」と題して、64 歳の男性が書かれた文章がきっかけでした。

「火災で 5 人が亡くなったグループホームには、防火扉など 4 項目で建築基準法違反があった。同様の火災が発生するたびに国や自治体は安全管理を強化し、施

設に改善を求める。補助があるとはいえそれなりの資金が必要で、余裕のない施設は廃業に追い込まれるだろう。私の年金は月 6 万円に満たないだろう。入所するとなれば安価な施設を探さざるを得ない。安全対策にはお金が掛るので入所費用に跳ね返るはずだ。結局、安全なところに入れるのは裕福な人に限られるのではないか。現実はお金のある人しか守られていないように思われてならない。」こんな内容でした。

今は家庭用火災報知器も、4 年半前の半分以下で買えるようになりました。何台もの報知器を無線でつなぐタイプもあります。熱で消化液が飛び散る消火器は 1 万円でおつりがきます。これに粉末 ABC 消火器や安全センサー付ガスコンロの使用などを組み合わせて、効果は高いが費用も高いものから、コストパフォーマンスが高く、設置費用も安くて普及率の高さを確保できるリスク管理を思います。お金が余りかからず、そこで暮らす方々がそこそこ幸せで、地域にとってもそこそこ良いという福祉のあり方も、同じルートでしょう。お金はかかるが、いたせりつくせりの福祉を模索するあり方や、目が飛び出る高額な医療費だが、世界最高の医療が受けられるあり方も、それはそれで、あっても良いでしょう。ただ、一般庶民の目線感覚からの福祉のあり方を模索することなく、国民総幸福感（Gross National Happiness, GNH）を高めることは難しく、それを怠れば、物質的には豊かだが、不安定で息苦しい社会になることは間違いないでしょう。

「月 6 万円の年金で、それなりに幸せに暮らせる老後とは？」この 3 月 12 日から、私の心に引っ掛かった難問です。

お知らせ

留学生体験ボランティア

3月23日 昨年10月より半年間、徳島大学国際センターにて日本語研修コースを受講していた留学生3名の皆様が、太陽と緑の会リサイクル作業所にて1日体験ボランティアに参加してくれました。

当会の様々なハンディを持ったメンバーとともに作業して下さったのは、ジョーさん(ミャンマー・男性 生物学教師)、サムさん(ウガンダ・男性 数学教師)、クルニアさん(インドネシア・女性 英語教師)と、当会理事の小林さん。

小林さんは、当会に買い物に来られるお客さんだったのですが、15年ほど前からボランティアとして当会の活動をサポート

して頂いています。国際協力や地域でのボランティア活動にも熱心に取り組んでおられ、今回の体験ボランティアも、小林さんの提案で実現しました。

体験ボランティア終了後は、英語と日本語と映像を織り交ぜながら、当会の活動について説明させて頂きました。半歩先を見据えた活動について説明するためには、既存の制度福祉の枠組みの現状と課題を説明する必要がありますが、それを「初めて来た人に英語で説明する」ことはなかなか大変なことでした。

今後は、鳴門教育大学で勉強をされるとのことです。また買い物やボランティアに来て頂けたらと思います。



見学

1月17日午後5時30分～8時、NPO法人えひめグローバルネットワーク代表竹内さん、四国EPOの松本さん、松下さん
3月9日 就労継続支援B型事業所 ハートピアみなみ（愛媛県伊予郡砥部町）より職員3名の皆様
3月11日 辻レースより4名の皆様

体験実習・ボランティア

2月7日午後2時～3時 ジョブスタとくしま体験講座受入 利用者1名 職員2名

3月26日～4月5日の7日間、10時から12時まで、鎌田さんと谷口さんがボランティアで当会の活動に参加して下さいました。ハンディを持ったメンバーと作業するのは初めてとのことでしたが、雰囲気にもすぐなじみ、一年で一番忙しい時期を支えて下さいました。有難うございました。

4月25日午後1時半～3時半 あわ地域若者サポートステーション職場体験講座受入 利用者7名 職員2名

イベント・会議

2月17日、美馬市穴吹町にて、とくしま環境県民会議の主催で、第9回とくしま環境ボランティア交流会が開催。当会からは、代表杉浦が実行委員として参加した他、作業所メンバーの田村君、藤田さん、走川君も参加。

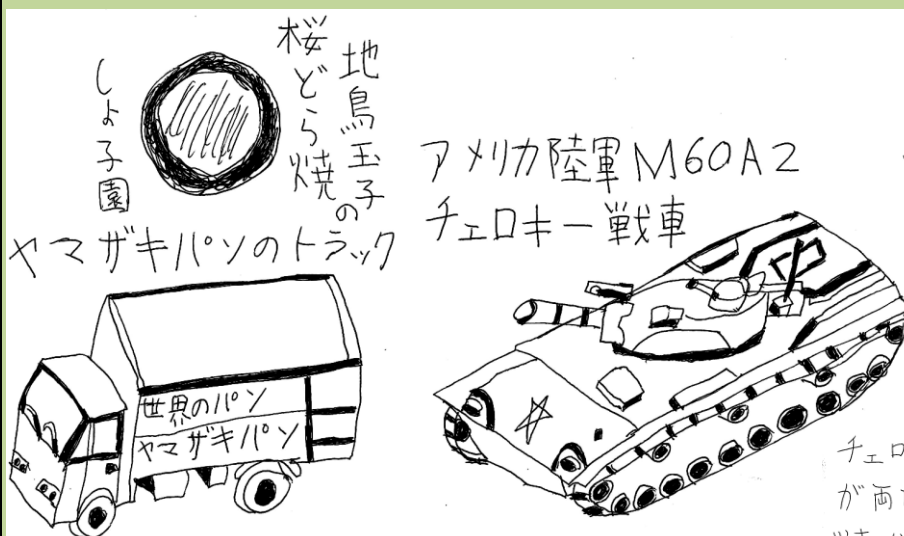
冷え込む中、午前は穴吹川清掃活動、午後はNPO、企業、中学校による環境活動の報告会及び交流会を行いました。

3月2日 徳島市内（ホテル千秋閣）にて、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の研修会が開催。

この連絡協議会（平成10年に正式発足）は3障害の作業所が関わる協議会で、当初から現在に至るまでボランティア運営で成り立っています。

障害者自立支援法が施行されて7年、障害者地域共同作業所から、個別給付事業に移行する所も増えました。新たな展開の模索が続いていますが、作業所の原点を確認する場としての必要性を再確認しました。

太陽と緑の会からは事務局として杉浦が参加した他、専任職員の桑内、メンバーの米田君も参加しました。



文・イラスト 藤田さん

チェロキー戦車とヤマザキパソンのトラックが両方はいっしょに行きます。東京の桜どろ火焼がヤマザキパソンのトラックにのって行きます。自分は休みの日に思いっぴかきました。

メンバー・インタビュー

今号より、新連載「メンバーインタビュー」がスタートします。

今気になっているメンバーにリレー形式で各スタッフがインタビューします。仕事、人生、未来などテーマは多岐にわたる予定です。

~~~~~

<インシデント…木の葉のように落ちてくるもの>

インシデント incident[in (=～の上)と cadere (=落ちる)]とは些細な出来事を意味します。よく似た言葉で、アクシデント accident[ac (=～に向けて)と cadere (=落ちる)]がありますが、インシデントの方は何らかの上に偶発的に落ちた、という偶然の結果が強調されています。

アクシデントというと大事故や大事件をあらわします。そして、歴史を記述するのに必要とされているのはアクシデントの方です。インシデントの方は、あまりにも個人的で些細なことなので、ほとんど気がつかれないまま、歴史の片隅にうもれていきます。

その歴史を基礎付けているのが時間です。

時間は、規則正しく機械的に進むものなんでしょうか。遅くなったり速くなったり、順番が入れ替わったりするのが、人間の生きられる時間です。そんな時間意識の中で、メンバーの記憶/物語と出会うことができればと思います。

無関心すれすれの小さな出来事。取るに足りない事象。

だからこそ、語られねばならない。

この連載をつうじて、インシデントの集積物をアーカイヴしていきます。

~~~~~

第1回は、いつもニコニコのC君(20代)へのインタビューをお届けします。

……この機関紙は全国いたるところ、遠くはケニアにまで発送されます。読者のみなさまへあいさつをお願いします。

こんにちは。僕は太陽と緑の会で働いているメンバーのCです。よろしくお願いします。

毎日笑顔で頑張っています。うん。A君(元青年長期ボランティア)には届くんですか？

……届くよ。何かあるんですか？

<ボイスレコーダーにむかって>

あの、元気ですか？あの、憶えていますか？僕が実習にきたときに一緒にトラックで作業しました。楽しかった。

……どんな仕事をしていますか？

いろいろしてるけど、今は衣類とかしています。あとレジもしています。ちょっと計算とかも。難しそうだけど、頑張ってる。

……仕事で大変なことは何？

いろんな仕事を覚えんなあかん。衣類の補充したりせなあかんし、レジも計算も覚えんなあかん。これ、レジのキーも覚えんなあかん。あと掃除も毎日きれいにせなあかん。

……働くことは楽しい？

楽しいです。うきうき。いろいろな人に会うし、いろいろな商品もある。いろいろな人とコミュニケーションをとれる。

……太陽と緑の会はどんなところ？

ハンディをもったメンバーとかが働いています。

……ハンディって？

ちょっとまって。うん。そこは難しい。そこはちょっとわからんです。

(専任職員 西村)

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2013年2月1日～2013年3月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

喜田、成瀬、谷、橋本、かもじま駅前まちづくり会議、匿名、倉下、杉野

(郵便振替口座にご入金下さった皆様) 匿名、北岡、森、亀倉、太田、三代田、武田、永口、鴻野、阪野、佐藤

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○土肥、小山、新居、谷崎、吉岡、津川、久次米、峰田、中田、清水、藤永、米津、一柳、鎌田、美馬、前田、福田、後藤、長尾、久保、ビューティオアシス、森、浜田、喜田、藤田、増田、大藤、奥山、大榎、藤本、西岡、梅本、住友、工藤、山下、中尾、真鍋、荒岡、巻島、榎田、藤森、藤原、近藤整形外科、立川、武井、田中、山口、赤川、市川、岡田、村崎、伸松建設、日下、前山、岩佐、梶浦、石丸、数藤、栗山、島田、原田、木下、エクセレント国府、賀川、岩崎、石山、元木、青木、小原、伊勢谷、安藤、湯浅、柏原、伊澤、的場、藤井、原、北村、紙上、上田井、水谷、井上、船橋、吉松、田村、渡辺、岡山、吉本、楠本、天野、竹村、宇高、関本、斎藤、三好、土井、西、小倉、坂本、川野、川原、松平、倉下、一柳、松原、山田、大林、丸山、北添、多川、中西、阿部、木下、石橋、森下、田淵、ファミリーマート仲之町店、河原、滝川、久米、川野薬局、中川、七條、野村、日下、住忠、日下、新居崎、橋本、増金、土井池、飯島、水田、大隅、春木、細尾、大井、丹羽、竹原、錦、酒井、矢野、中尾、鶴木、毛利、富永、磯塚、チケツト徳島、榎田、佐々木、小泉、篠原、佐藤、のぎ、伊達、平賀、服部、川崎、中沢、小口、小西、奥山、山本、松浦、田口、つゆき、多田、谷崎、黒田、須藤、泉、正木、栗山、大南、コスモハウジング、大西、巴、勝浦、澤近、榎本、板部、古田、東原、穴戸、中山、増田、鶴沢、中村、蛸名、細井、飯田、佐野、鶴島、楨内、福原、仁木、内藤、吉田、Dコム、小松、笹川、三笠、秋本、坂東、川端、谷、友竹、森耳鼻科、小玉、岡本、立尾、河野、伊岐、石井、アスペック、梅谷、西原、<おが、慈船寺、市川、菅、柳本、○藍住町○阿部、谷崎、中野、宮川、東條、片山、はた、斎藤、佐野、細井、渡辺、山田○石井町○片山、斎藤、川村、ケアハウスまこと、新居、吉田○上板町○安崎○鳴門市○寺田、大和、福島、水野、久龍、辻、中谷、田淵、西条、雑賀、オスマン○小松島市○辻、内藤、奥山、田野々、真弓、岩本○北島町○西岡、杉野、飯坂、中田、結城、瀧、飯坂、川田、宮崎、中村、伊藤○板野町○高岸○松茂町○橋本○吉野川市○三木、尾越、村雲、市村○阿南市○平岡、萩原、田村、三木○阿波市○小川

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○池田、青山、河野、富川、石川、兼久、山本、瀬戸、田村、田中、松下、武市、寺町、杉本、岩本、水本、岡、森本、山田、井内、服部、小林、吉田、宮本、川野、藤原、藤本、山橋、坂東、中馬、大島、河村、手城、橋、梅本、工藤、岡下、中嶋、中山、地面、酒井、鈴江、幸平、岡本、新居、岩野、山野、井上、戎井、西野、庄野、鎌田、浜崎、迫、森田、為実、中井、後藤田、佐藤、田所、木元、岡林、山岡、竹本、今田、高橋、武田、戸川、安芸、森、田淵、手塚、福富、阿部、三木、村井、白木、楠野、川島、石本、佐野、細井、林、谷川、村田、榎本、丸笹、奥谷、梅谷、木村、宇原、濱田、橋本、東條、渡辺、中西、納田、川崎、福家、村部、廣岡、明丸、芝、生田、加納、ダック引越しセンター、近藤、中上、川風、古川、縄田、糸井、小松、高須、岡崎、榎木、高田、川添、モトカワ建設、松浦、豊茂、飯島、河野、黒田、植林、市川、杜味仙、福本、岸、岸本、缶コーヒー、細木、萩原、志摩、牧野、森口、大西、三浦、川人、竹内、桜井、長岡、友成、小原、岡田、山橋、長谷川、横川、高木、樋口、岡村、東原、久米、細束、大下、辻、足立、山口、佐々木、大上、今獅々、井原、高原、児玉、米崎、島田、田村、平井、内海、中山、北浜、青木、大久保、島本、中村、日高、福田、平賀、四宮、美馬、小西、西原、酒巻、柳澤、武智、漆原、名田、雲財、田部、西岡、小田、元木、篠原、一心運輸、谷口、片山、柴谷、久米川、岩崎、堤、楨内、大屋、榎本、夏野、森脇、細川、豊茂、本味仙、住吉、宇野、上田、後藤、小泉、井口、坂本、郡、菅生、伊澤、藤村、民喜、島谷、桑原、杉井、湯浅、今獅子、粟飯原、吉田、秋田、宮脇、秋山、窪川、川田、北井、岩見、三谷、高杉、堀、安野、岸田、太淵、大井、紙本、松村、豊田、猪岡、福原、三角、杉浦、伊藤、正木、八木、多田、高瀬、有井、小久見、前田、松本、西川、藤井、須賀、清井、鈴木、松田、居守、木内、津保、北野、古賀、小川、米倉、横田、宮城、金丸、柏原、山下、大塚、岡山、竹林、馬越、曾川、児島、稲原、

三木田、河原、矢部、真鍋、栗尾、石井、見越、清水、岡部、高松、有島、松尾、柴山、美馬、滝原、野口、宮井、中原、河崎、海山、巴、田幡、横山、安田、岡、瀬上、久保、喜多、中澤、村口、和田、河口、大浦、今獅子、峯田、辰野、財田、菊地、堀川、蓬束、猪山、川尻、四方、上月、篠原、桑原、今井、岸路、内田、西谷、吉崎、天野、大屋○吉野川市○上浦小学校PTA、松本、河野、富浦、島田、新谷、原田、吉田、深見、片岡、藤田、川人、米澤、大塚、井元、蒔田○美馬市○宮武、加藤、田岡、藤本、笹田、中川○三好市○川村○阿波市○北峯、秋山、三宅、森、有井○石井町○山西、小田、木内、尾崎、堀井、近藤、中倉、松田、古高、柏谷、若松、中内、児島、武智、加藤、岩本、菊地、竹内、桜井、佐野、中村、美馬、吉本、北岡、梅井、徳島山と友の会、武市、森、井内、幸内、梅井、山口○藍住町○西川、河野、船越、広瀬、斎藤、三好、平松、西村、赤石、三好、河野、下川、多田、井上、五味、影山、伊藤、日崎、佐竹、井原、小笠原、友滝、片山、田浦、吉田、大野、山本、新居、入山、東、賀川、浜、岩本、北島、杉村○北島町○長田、萩原、佐川、橋田、川村、若田、中尾、竹田、吉成、盛田○鳴門市○橋本、近藤、大石、湯浅、林、瀧野、米里、板谷、引田、多田○松茂町○長岡、岸野○板野町○福原、鎌田、橋本、村田、亀谷、井上、岡本、新宮○上板町○原、赤澤、河野、仲村、渡辺○神山町○河野、マックス・ラブ○佐那河内村○山本○阿南市○中都、佐野、阿南工専、小谷、友成、小川、谷、美馬、細川、橋本、阿部、石川、志賀、阿部、天羽、大西○那賀町○山脇○小松島市○渡辺、吉本、井内、北野、木村、田中、黒上、湯浅、中村○美波町○郡、内原○海陽町○神沢、堀内○福岡県○永峰○兵庫県○山本○和歌山県○山本、山口○愛媛県○藤田○大阪府○藤田○東京都○塩家、小山○神奈川県○高坂○埼玉県○永峰○千葉県○池田○香川県○香川県隣保館連絡協議会、田中○京都府○木村、藤原、井上

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またいつもミカン、デコポンを下さる多田様（お世話になっている方へもお配りさせて頂き、喜んで頂きました）、数回に渡り山盛りの大根を持って来て下さった粕谷様（昼食の味噌汁の具として活躍しました）、昼食にカレーとポテトサラダの差し入れをして下さった河野様（皆でおいしく頂きました）、その他お野菜やお菓子などを下さった皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



突然の失礼お詫し
下さい。
東京御福生市
あさひです
使用した物で誠に
済みませんが、お役
に立てれば幸いです。

品物を郵送して下さいました

一、市民ソンドより金一万円也
地域社会貢献の支援金として
寄付いたします
平成二十五年三月十五日
かじま駅前まごり会統一
NPO 太陽と緑の会様

ご寄附頂きました

編集後記～長いスパンで考える

メンバーのAさん（男性）のお母さんから作業所に電話が入った。

「家のことを手伝ってほしいので早く帰るように言ってもらえませんか」

Aさんは、お母さんと2人暮らし。お母さんが就寝時に使う湯たんぽの準備をしたり、夕食の準備の手伝い・配膳、洗い物、風呂掃除などを担っていた。

昼食の味噌汁作り、洗い物、掃除といった太陽と緑の会リサイクル作業所での10数年に渡る取り組みの積み重ねが、家庭でも生きていた。

かつて「Aが味噌汁なんて作れるものですか」「Aの世話にだけはなりませんから」とおっしゃっていたお母さんも、夫を亡くされ、70半ばを過ぎ、Aさんに頼らざるを得なくなった。2人の娘さんは結婚して、それぞれ大阪、香川に住んでいる。だから、お母さんが病院に行くときはAさんが付き添うことも多かった。

Aさんは太陽と緑の会リサイクル作業所で働いており、県外に出て行くことはないということ。そしてお母さんが一番身近にいるAさんを、心配しつつ、どこかで心強く思っている面もあるということ。Aさんとお母さんの関係は二人三脚の日々の中で少しずつ、しかしダイナミックに変わり始めていた。

そのお母さんも、じきに体調を崩され、入退院を繰り返されるようになり、最後は家族に看取られて亡くなられた。Aさんは亡くなる直前まで付きっきりで看病したという。

Aさんにとってハンディとは何なのか。Aさんのお母さんにとってはどうだったのか。

物事にはいろいろな側面があることを、いつも感じさせて頂いている。(小山)

(事例は当会の活動内容をイメージして頂くために、日常の取り組みを紡いだものであり、ある特定の事例を指すものではありません。)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054（事務局）

088-642-1054（リサイクル）

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

データ入力 岡田郁子

製本・発送 福住ヒサヨ 宇津辰則 走川幸児

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703